

# 米づくりのさかんな地域① (教科書 66～87 ページ)

氏名( )

①あなたが家で食べている米は、どこでつくられたもので、何という名前ですか。

米の産地	米の名前

②米の生産量が多い都道府県ベスト5はどこでしょうか。教科書 67 ページウの「都道府県別の米の生産量」で調べましょう。

1位	2位	3位	4位	5位

③たくさんの米をつくるには、どのような自然条件が必要ですか。教科書 67 ページを読みながら答えましょう。

④新潟県にいがたや北海道とうほく、東北地方は、どうして米づくりに向いている場所なのか。教科書 67 ページを読みながら答えましょう。

⑤新潟県南魚沼市みなみうおぬまは、どのような自然条件が米づくりに向いているといえるでしょうか。教科書 64 ページア、68～69 ページを見て答えましょう。

気 候	
地 形	

米づくりのさかんな地域② (教科書 66~87 ページ)

氏名 ( )

①米づくり農家は、安全でおいしい米をたくさん生産するためにどのようにふうや努力をしていると思いますか。予想してみましょう。

②南魚沼の三輪<sup>みわ</sup>さんがしているくふうや努力を教科書 72・73 ページを見て調べ、をうめましょう。

**種もみを温水につける**

種もみを湯につけて  したり、

温水につけて発芽<sup>はつが</sup>をうながす。

**稲<sup>いね</sup>かり**

を使うと、

30分で10<sup>アール</sup>のかり取りができる。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<b>三輪さん の米作り</b>				種まき・苗作り		田植え	除草	水の管理		稲かり	機械や道具の整備・片づけ	
				肥料をまく	田おこし・しろかき			<input type="text"/> を加える・農薬		乾燥・もみすり・出荷		

**しろかき**

水田の土を  で

かき混ぜながら平らにする。

を加える

天気の悪い日が続くと、稲の成長が悪くなるので様子を見ながら加える。

### 米づくりのさかんな地域③ (教科書 66~87 ページ)

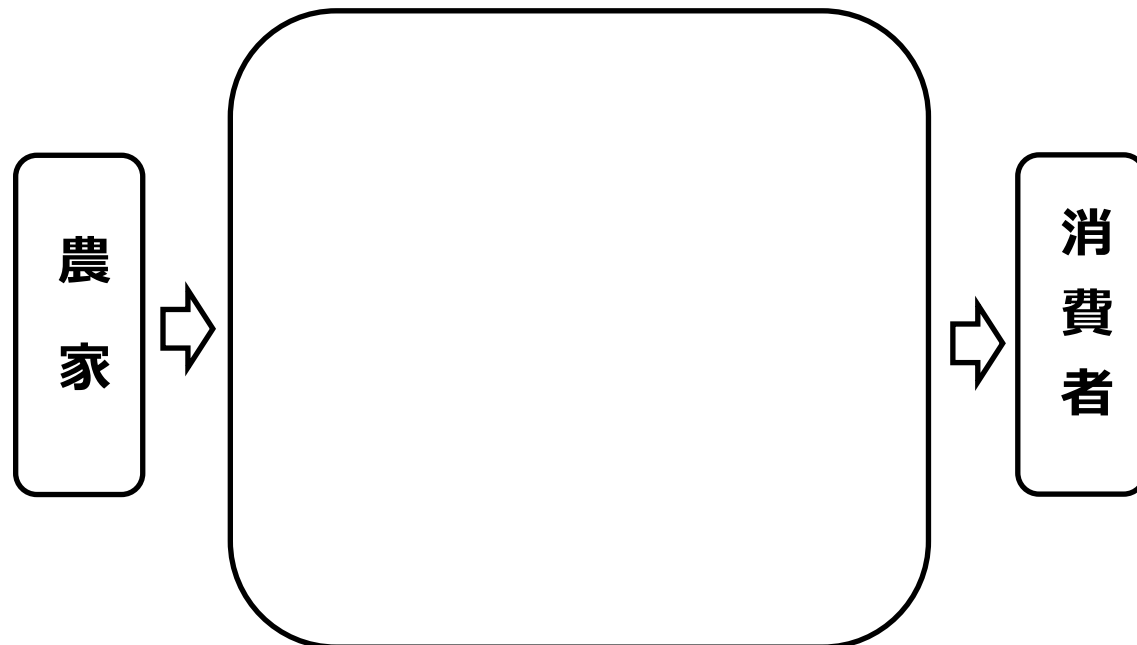
氏名( )

- ①農家の人たちは農薬や化学肥料<sup>ひりょうへ</sup>を減らすために、どのようにくふうをしているでしょうか。教科書 74・75 ページを見て調べましょう。

【農薬を減らすためのくふう】

【化学肥料を減らすためのくふう】

- ②米が農家のもとから消費者<sup>しょうひしゃ</sup>にとどくまでには、どのような人たちが関わっているでしょうか。教科書 76・77 ページで調べて書きましょう。



- ③わたしたちが買う米の値段<sup>ねだん</sup>には、どのような費用<sup>ひよう</sup>がふくまれているでしょうか。

- ④おいしくて、病気に強い米をつくるために、全国の研究所は何を行っているでしょうか。教科書 78 ページを見て調べましょう。

【おいしくて病気に強い米をつくるためのくふう】

- ⑤教科書 78 ページア・イの資料のように、昔に比べると同じ広さでの生産量が増えたり、作業の時間が短くなったりしているのはどうしてだと思いますか。

## 米づくりのさかんな地域④ (教科書 66～87 ページ)

氏名( )

①農業機械が広まったり、耕地整理が行われたりする前と後では、米づくりはどのように変わったでしょうか。教科書 79～81 ページを調べ、表に整理しましょう。

農業機械	前	
	後	
耕地整理	前	
	後	

②教科書 82 ページア「米の生産量と消費量の変化」のグラフを見て考えましょう。

○生産量と消費量は、全体としてどのように変化していますか。

○生産量の変化と消費量の変化には、どのような関係があると思いますか。

○生産量と消費量は、これからどうなると思いますか。

③米づくりがかかえる課題を教科書 82・83 ページで調べましょう。

○米の消費量が  続けている。

○近年、国による  が見直され、産地や生産者が米の生産量を自由に決め、自由に米を売れるようになった。そのため、産地どうしの競争がはげしくなった。

○農業で働く人の数が、  。

特に、年齢の  人の数が少なくなっていて、あとつぎのいない農家が増えている。

## 米づくりのさかんな地域⑤ (教科書 66~87 ページ)

氏名( )

- ①教科書 84・85 ページア~エの取り組みは、「米の消費量が減っている」「農家の数が減っている」という課題をくいとめるために、どのような意味があるでしょうか。考えたり、調べたりしたことを書きましょう。

ア	玄米を材料に使ったベーグルパンづくり	
イ	地域の農家が集まる勉強会	
ウ	農業の技術 <small>ぎじゅつ</small> を学ぶ	
エ	農業体験	

- ②教科書 85 ページを読み、米の消費量を増やし、米づくりを続ける人を増やすために、農家の人たちが取り組んでいることを調べましょう。

- ③南魚沼市で米づくりがさかんな理由を、「自然条件」「農家のくふうや努力」「農家を支える人々」の三つの見方から考えましょう。

【自然条件】	だから、南魚沼市では米づくりがさかんだ。
【農家のくふうや努力】	
【農家を支える人々】	

- ④これからの米づくりに大切なことは何だと思いますか。考えを書きましょう。

が大切だと思う。

なぜなら、